

⑥ 2023.07.07 「光同盟」の7年間の秘密作戦による「闇側」である「イルミナティ達」の「全世界を支配している組織」の壊滅・一掃の進行状況の実態(パート2)

- 2023年4月30日に、「CDC(疾病管理予防センター)のグローバルヘルス担当副所長ハワード・ザッカー博士」は、COVID(新型コロナウイルス)という架空のウイルスのパンデミック作戦を促進する事による「人類と憲法に対する罪」で、「光同盟側」の米軍に逮捕された事
 - 本人の「CDCの副所長」としての犯罪、及びその前の「ニューヨーク州の保健長官」としての犯罪
 - 「ロックフェラー達」の「コロナ・パンデミック詐欺」という「心理作戦」について、最初の段階から一気に全世界の市民に恐怖を持たせる事とそれに連れて厳しい規制の急速な導入を促進させやすくできる為に、「ニューヨーク州知事のアンドリュー・クオモ」は、「架空の COVID(新型コロナウイルス)の死亡数づくり」の為に、次の3つの事を実行した事
 - ① 数万人の老人ホーム等の年配の方々を殺害した事、
 - ② 病院での殺害制度の導入と徹底を強制した事、そして
 - ③ ニューヨーク州で起こった死亡のほぼ全てに関しての死因を新型コロナウイルスの所為にする事を命じた事
 - 「この架空のウイルスの死亡数作り」の為に、クオモ州知事に次いで、「カリフォルニア州のギャビン・ニューサム知事」と「ミシガン州のグレッチェン・ホイットマー知事」が大きな役割を果たした事
- 2023年5月4日に逮捕された「CDC(疾病管理予防センター)長官であるロシェル・ワレンスキー」の軍事裁判とその後の処刑
 - 「コロナのワクチンと呼ばれている毒薬のバイオ兵器注射によっての世界規模の大量虐殺」となる COVID-19(新型コロナウイルス)作戦の肝心な役割を果たしてきたこのワレンスキーは、ビルゲイツ、NIHのファウチとコリンズ達、ワクチン会社の経営者達、FDAのトップ達などのこの人道に対する犯罪の実行に働いた重要人物達の何れもと全く同様に、もちろん、そのバイオ兵器注射を受けていない事が判明された事
 - CDC副所長のハワード・ザッカー博士は、ワレンスキーが、NIHの共謀者である「ファウチ」と「コリンズ」と共に、ワクチンが「事前の人体実験の参加者」を殺した事、及び毎月何万人もの「騙された市民」を病気にしている事を知りながら、ワクチンの義務化を推進したと証言した事
 - 「貴方(ザッカー)が受け取らなかった報酬の為に、彼女(ワレンスキー)が貴方に一体何をさせられたのか」という質問に対し、ザッカーは、次の通りに答えた事
 - 「もちろん、パンデミック詐欺を押し進める事です」
 - 「そして、長い間、その詐欺を上手く継続できたのです。我々は、全世界を騙したのです。」
- 2023年5月30日の「ミシガン州知事のグレッチェン・ホイットマー」の逮捕とその後の軍事裁判と速やかな処刑
 - 裁判中の証言者1:2020年3月7日に、ホイットマー知事は、ガーリン・ギルクレスト副知事に「COVID(新型コロナウイルス)のパンデミックは、偽物で、監禁は、人々が命令に従うかどうかの社会的実験である」と話した事
 - 裁判中の証言者2(ミシガン州の検視官):2020年3月7日に、ホイットマーの命令で、自分も、同僚達も、COVID-19(新型コロナウイルス)に寄らない死亡を全て COVID-19(新型コロナウイルス)に起因した死亡として記録した事
 - クオモ知事とニューサム知事と同様に絞首刑にて処刑された事

- 処刑されたクリントン達、オバマ達、ブッシュ達やギャビン・ニューサム州知事と同様に、処刑されたジョー・バイデンとカマラ・ハリス等の有名人の「替え玉」の技術の種類と事例(動画)の紹介
 - 「闇側」である「イルミナティ」が処刑された「闇側達」の「替え玉」を出す理由は何でしょうか？
 - 「光同盟」が処刑された「闇側達」の「替え玉」を出す理由は何でしょうか？

「光同盟」の 7 年間の秘密作戦による「闇側」である「イルミナティ達」の
「全世界を支配している組織」の壊滅・一掃の進行状況の実態

- 何回も申し上げました様に、「光同盟」の 7 年間推移している秘密作戦の目的は、「闇側」の全世界を支配する為のピラミッド組織の頂点の大物から、最下層の小物までの各一人の
 - ① 発覚と
 - ② 犯している詐欺等の犯罪の絶対証拠の獲得、そして
 - ③ その絶対証拠を国際軍事裁判で開示する事により、この惑星の社会から永遠に肅清する事
それに
 - ④ その絶対証拠を暴露する事によって、全世界の市民を覚めさせる事

[省略すると、「光同盟」の 7 年間の「秘密作戦」の目的は次の通りである事]

(A) 「闇側の悪人達」の全員の「一掃」、及び

(B) 全世界の市民の「[大いなる目覚め](#)」

- (A) 「悪人達の一掃」について、「光同盟」は、既に、実質的に、「闇側」の大物の退治と彼らのピラミッド組織の上層部の崩壊を実行している事で、「彼らの 20 万年間の支配の時代」は実質的に、2021 年の 10 月に終わられた事
 - 部分的に残っている DARPA(ダルパ)や NATO(ナト)、CIA、バイデン政権たち、マスコミ達等々は、必死に戦い続けているが、撲滅される事は避けられない事。時間の問題にすぎなく、しかも、その時間は 1 年間以上かからない事
 - 彼らの大物から中間の操り人形達の逮捕、軍事裁判での有罪判決と処刑ないし終身刑による肅清は、かなり進みつつあり、数百万人の小物の肅清はこれからである事
- (B) 「全世界の市民の[大いなる目覚め](#)」については、「光同盟」がそれを本格的に実行し始める日は近づいており、それを一気に始める時に、全世界の眠っている市民にとって、呆然とする連日の始まりになります。その呆然とする連日は、数日では終わりません。数週間でも終わりません。数か月間でも終わりません。数年間でも終わりません。
無限の潜在を与えられている人類が想像を絶する程輝き始める時代となります。
無限の宇宙に存在している「全ての方々」は、一つのファミリーであり、その一つのファミリーとして与えられた無限の潜在力を活かし始める時代となります。
そのファミリーとして、私達は、「光と生命の時代」を切り開きます。
私達は、その「[大いなる時代](#)」を誕生させます。
 - 「光同盟」がその「大いなる目覚め」を本格的に実行し始める日に向けての事前の準備として、ドナルド・ジョン・トランプが 2017 年 1 月に大統領として就任した時点から、「トランプを中心に光同盟」は、全く眠っている市民が次第に覚める様に集中的に努めて来た事。
 - そして、「光同盟」は、昨年、2022 年 11 月 15 日の彼の演説から、その「覚めさせる活動」を大幅に加速し始めた事。
 - 本日、その演説を初め、彼の 1 月の或る演説と 3 月の或る演説を案内させて頂き、この 3 つの演説を通じて、注目して頂きたい事は、終始、トランプ大統領の市民に対する開示の「**範囲の度合**」、「**深さの度合**」と「**具体性の度合**」が次第に拡大する事である事
 - その中の 1 つの例として、全世界を支配してきた「**ロックフェラー・ロスチャイルド家等のイルミナティ達**」に関してのトランプ大統領の取り上げ方に注目する事
 - 11 月 15 日の演説の 8 日前から、トランプ大統領は、「11 月の 15 日に、今までの**最も重要な発表**をします」と宣言した事。
[その「最も重要な発表」は何でしょうか]
[その 3 つの演説を通じての絶妙な展開とそれによる効果は何でしょうか]

- 2022年11月15日の演説の途中で、トランプ大統領は、あえて、「連邦下院議長ナンシー・ペロシー」に関しての発言をした事。[なぜでしょうか]
 - ペロシーの写真で、彼女の襟に付けているブローチにウクライナの国旗が見える事。
[なぜそのブローチを付けているのでしょうか]
 - 「ロックフェラー達」は、彼女にとっても大きな計画を立てていた事。[何でしょうか]
 - トランプ大統領は、彼女の絞首刑による死刑に、あえて、出席した事。[なぜでしょうか]
 - 彼女の処刑で、「ロックフェラー達」の大きな計画が狂った事。[なぜでしょうか]
- トランプ大統領は、2022年11月15日の演説で、初めて、「**ディープ・ステート**」(**陰の政府**)という具体的な表現を発言し、その後の2つの演説を通じて、「ディープ・ステート」という存在について、市民の認識を次第に拡大しつつある事。[ディープ・ステートに関する発言の流れは次の通り]
 - ① [2022.11.15の演説]:
「ディープ・ステートを解体し、市民による政府を復活させます。」
 - ② [2023.01.12の演説]:
「ディープ・ステートは、実在に存在していたのです。私は、彼らの存在を信じなかったですが、今は、誰も信じる様になっております。」
 - ③ [2023.03.22の演説]:
「こうして私は、ディープ・ステートを打ち砕き、市民によって、市民の為にコントロールされる政府を取り戻します。」
- 2022年6月29日に、米国最高裁判所は、2020年の選挙の「詐欺によってのバイデン勝利」を覆した事
 - 2020年11月3日の大統領選挙を実施された直後から、同選挙において犯された選挙の詐欺に関する絶対的な証拠が秘密裏に最高裁判所に提出され、同裁判所が秘密に取り上げた判決である事
 - 同判決により、「米国大統領の地位」は、ドナルド・トランプに授与された事
 - この事実が表で全世界の市民に開示された時点は、全世界の市民が見える「大きな事」が起こり始める時点と重なる事
- 前回の様に、「**光同盟**」は、**次の通りの事を成し遂げている事**
 - ① 「**バチカン**」、「**シティ・オブ・ロンドン**」、「**ワシントン D.C.**」、「**アメリカ合衆国有限会社**」の4つの法人の解散
 - ② 「**バチカン**」、「**シティ・オブ・ロンドン**」、「**ワシントン D.C.**」の3つの国家の攻略
 - ③ 「**イルミナティのトップ達**」と共に、「**バチカン**」、「**シティ・オブ・ロンドン**」、「**ワシントン D.C.**」を運営していた者達の粛清
- 「バチカン」、「シティ・オブ・ロンドン」、「ワシントン DC」と「アメリカ合衆国有限会社」と同様に、「ロックフェラー等のイルミナティ達」の IMF(国際通貨基金)、国連、世界銀行、世界経済フォーラム、そして「世界中の中央銀行」の何れも、「主権を持たない破綻した企業」とさせた事
- 彼らの「米国の国税庁」と「米国連邦準備制度理事会」は閉鎖され、彼らの「破綻した米国財務省」は復活した「アメリカ合衆国共和国」の「金塊を財源とする新しいアメリカ財務省」に移管され、ネバダ州のリノ市の近郊のアメリカ・インディアン居留地に置かれている事
- 復活した「アメリカ合衆国共和国」の首都は、テキサス州のテンプル市に置かれている事

- 「光同盟側」の米軍は、2023年6月17日以降、アメリカとカナダ全土の20~30以上の主要都市、メキシコ国境、その他の重要な場所に軍隊を大量配備し始めた事
- 他の国々においての「光同盟側」の軍隊も同様に、自国の戦略的な場所に軍隊を配備している事
- 「イルミナティ達」の全世界を支配するピラミッド組織に属している者と彼らに共謀したり幫助したりしている悪人達、ギャング、犯罪組織、テロ組織、民間民兵などの大量逮捕が猛烈な勢いで加速し始めている事
- アフリカでも、色々な事が起きており、3月下旬に、40人のアフリカ諸国首脳がモスクワでプーチンと習近平と会談した事
 - ロシアは、アフリカの大半のフランスの「元植民地」からフランスを追い出し終えた処、今、イギリスの「元植民地」を解放している処である事
 - アフリカの国の一つであるチャドは、ロックフェラー家の「多国籍石油大手エクソンモビール」から炭化水素や鉱山許可を含む全ての資産を国有化した事。
[これは、「ロックフェラー家」が同国から石油を盗めなくなった事を意味する事]

[その会談の終わりの習近平からプーチンに対する温かみの込めた親しい話と挨拶を録画した動画]

[これらのアフリカの各国の解放は、「光同盟」による全世界の各国と市民の「ロックフェラー・ロスチャイルド家」の支配からの解放の一環である事]